

学校だより



# 平沼

令和3年6月30日

横浜市立平沼小学校

Mail ; y3hiranu@edu.city.yokohama.jp

URL ; <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hiranima/>



## 一人ではない「自分」

児童支援専任 山崎 啓介

オリンピック開幕まであと約3週間。パラリンピック開幕まであと約7週間。オリンピック・パラリンピックの中身になかなか注目がいかず、開催の是非に関して様々な意見が世間を飛び交っています。このような今回の「東京2020オリンピック・パラリンピック」ですが、選手たちは人生をかけたこの大会をどのような気持ちで挑むのでしょうか。

私が目にする多くのスポーツ選手に共通することがあります。それは、インタビューの中で自分の振り返りをするとともに、必ず「周りの人々への感謝」を口にしています。

「家族」「コーチ」「トレーナー」「友人」「チームメイト」時には「対戦相手」に対しても、今の自分がいるのは周りの支えがあったこと、一人では良い結果を残せなかったことなど、自分を取囲むすべてのことや人に感謝をしている様子を目にします。

一流のスポーツ選手は技術だけではなく、生きていく中で大切な事をスポーツを通して学び、魅力的な人間へと成長しているのだと感じます。しかし、これらの事はスポーツ選手に限られた話ではないと私は思っています。

大人も子どもも誰もが、集団の中で生活し、多くの人と関わりながら生きています。一人で生きている人は誰もいないのです。人と関わることで良い気持ちにもなるし、嫌な気持ちにもなります。その瞬間に自分の中で何かを変える（成長させる）こともできます。大きな捉えかもしれませんが、考え次第で未来は大きく違ってくるのではないのでしょうか。

先月の朝会で子どもたちに「命のつながり」について話をし、自分を大切にしてほしい、それと同じくらい周りの人を大切にしてほしい、ということを伝えました。なぜなら、学校での集団生活や教室での学びは一人では考えられないような考えに触れることができるからです。他の考えを知り、交流させることは一人で学習してはできません。

今この世の中は多くの考えが混在し、以前よりも一人ひとりの考えや意見が目に見えるようになってきました。自分とは異なる考えを受け入れるのは難しいことだと思います。しかし、自分とは違うからこそ、多くの事を学ぶことができるのではないのでしょうか。これからの子どもたちには、様々な考えを共有し、その中から新しい価値を生みだせるようになってほしいです。そして、この平沼から世界に羽ばたいてほしいと願っています。

世界で活躍している人ではなくても、同じ人間として学び・活かせる部分は多くあると思います。今回のオリンピック・パラリンピックでは、競技の記録や演技の素晴らしさに感動するだけではなく、選手一人ひとりの人間としての魅力にも着目し、自分に活かせる何かを感じ、吸収してほしいと思います。